



## ～受託解析事業 (SNP 解析 Quant Studio 12K Flex) について～

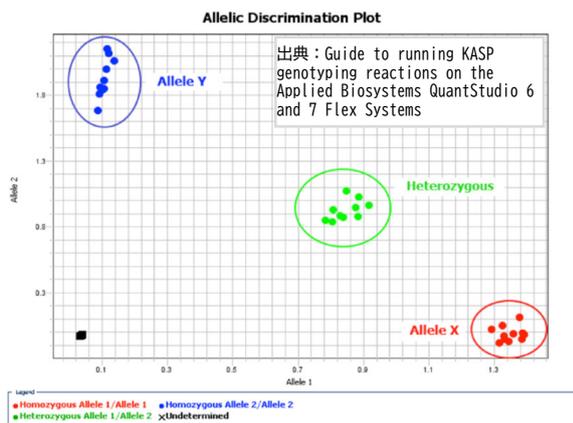
今回は Quant Studio 12K Flex を利用した SNP 解析の受託解析についてご紹介します。

SNP ジェノタイピングは、DNA に存在する一塩基多型 (SNP) を特定する技術です。

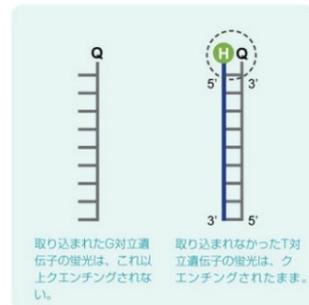
現在受託解析を行っている SNP 解析では KASP Assay mix (プライムテック株式会社) を使用しています。下記にその原理 (プライムテック株式会社 HP 引用) と解析結果例を示します。



初回のPCRでは、対立遺伝子特異的なプライマーの一方がターゲットSNPと一致し、共通のリバース・プライマーとともに、ターゲット領域を増幅します。



PCRの更なる回では、対立遺伝子特異的なtail濃度が増加します。FRETカセットの蛍光標識部分は新しいtail配列に相補的であるため結合し、蛍光シグナルを生成します。



### 研究者の声

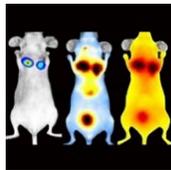
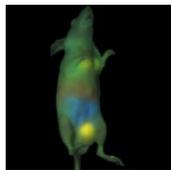
関節リウマチ治療のキードラッグであるメトトレキサート (MTX) の代謝や体内動態に関わる既知の遺伝子多型と MTX の寛解維持効果との関連の薬理遺伝的関連を解明するため、共用機器センターの受託解析事業による支援を得て、KASP genotyping assay や Restriction fragment length polymorphism の手法を用いて解析を行っています。MTX の効果、副作用と関連が示唆される多数の遺伝子多型を網羅的に解析する上で、KASP assay はコストパフォーマンスの高い方法です。しかし診療や教育で手一杯の臨床医にとって時間的ハードルが高く、実施に困難が伴いましたが、共用機器センターの受託解析事業による支援のおかげでこの研究を進めることができ、本当に助かっています。

名古屋市立大学病院リウマチ・膠原病内科部長 難波 大夫

次号で詳しくお伝えします。

実験動物研究教育センター  
IVIS lumina III について

※住商ファーマインターナショナル  
HP より引用



## お問い合わせ

共用機器センター

(医学研究科共同研究教育センター内)

〒467-8601

名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1 番地

☎ 内線 8103(高垣)・8104(菌田)

✉ core\_lab@med.nagoya-cu.ac.jp

